

平成 2 1 年度

ICT 標準開発プロジェクト

— 技術課題提案募集要領 —

募集期間

平成 21 年 4 月 22 日（水）

～

5 月 22 日（金）（17：00 必着）



MIC Ministry of Internal Affairs
and Communications

I. はじめに

I C Tサービスは、国内外の多種多様なネットワークや端末が相互に接続することによって、はじめてサービスが実現するものです。このため、I C T機器をグローバル市場に展開するためには、国際標準に沿って製品を作ることが必須であり、また、国際標準化により相互接続性・相互運用性を確保することによってネットワークのオープン化が進むこととなり、製品やサービスの新規参入が容易になることから、I C T分野におけるさらなるイノベーションを促進することが期待できます。

また、1995年に国際標準を国内の基礎とすることを義務づけるW T O / T B T協定が発効され、I C T分野の技術革新が進み、I C T市場が多様化する中で、国際標準が世界市場へ与える影響はますます増大しています。

このような状況の中、我が国の国際競争力を強化し、我が国の技術を世界的に普及させるための提言が盛り込まれた「我が国の国際競争力を強化するためのI C T研究開発・標準化戦略」（以下、「答申」という。）が、平成20年6月27日にとりまとめられました。

総務省は、答申を踏まえ、平成21年度から「I C T標準開発プロジェクト」を実施します。本プロジェクトは、I C T分野の中で特に国際標準化を強力に推進することが必要な技術課題について、技術的試験や相互接続検証等を実施することにより、我が国のI C T産業の国際競争力強化を図るものです。

II. 本公募の主旨・概要

本公募は、総務省が「I C T標準開発プロジェクト」を実施するに当たり、我が国の国際競争力を強化する上で重要度が高く、国際標準化を加速すべき技術課題と当該課題に対する取り組み（以下、「重要テーマ」という。）について、提案を広く募集するものです。

本公募において提案された重要テーマについては、総務省が「I C T標準開発プロジェクト」を実施するに当たって、参考情報として取り扱います。なお、応募された提案については、募集期間終了後、とりまとめて公表する場合があります。

III. 公募の対象となる重要テーマ

今回、公募の対象とする重要テーマは、表1に示すとおり、答申の中で選定された国際標準化に特に重点的に取り組むべき技術分野等に該当する技術課題を中心として幅広く募集します。

表1 公募対象技術分野

①新世代ネットワーク技術分野	新たな NW アーキテクチャ、フォトニック、光アクセスなどの我が国の強みを生かし、NGN の先の市場を目指したもの。新しいネットワークとして、他国に先駆けて国際標準化に取り組むべき分野。
②NGN/IPTV技術分野	現在、ITUでリリース1として骨格部分が標準化されている NGN については、今後、リリース2としてアプリケーションの標準化が本格化していくこととなる。その中で、品質保証や個人認証機能を最大限に活用した IPTV サービスは、最大のアプリケーションの一つとして考えられており、今後大きな世界的な市場を形成していくことが期待されるため、近々の実用化に向けて国際標準化を強化すべき分野。
③電波有効利用・電波資源開発技術分野	我が国は世界的にも電波を稠密に利用していることから、将来にわたり無線システムの高度化を図る上で不可欠な技術であり、世界に先駆けて国際標準化に取り組むべき分野。
④ITS技術分野	社会インフラシステムとして大きな市場が期待できるとともに、我が国の自動車産業が世界展開していることから、これをテコに先導的に国際標準化を推進していくべき分野。
⑤次世代移動通信システム技術分野	ますます高速大容量化する移動通信サービスは今後も拡大することが期待され、これまで培ってきた技術・標準化の取組をベースに国際標準化を先導していくべき分野。
⑥セキュリティ技術分野	ICTサービスの進展に伴い、利用者が安全かつ安心してこれらのサービスを利用するための社会的な必要性が高まっており、今後ますますその傾向が強まるものと考えられ、世界的に国際標準化活動を強化していく分野。
⑦ICT環境技術分野	ネットワーク機器の省電力化技術、センサーネットワークによる環境計測技術、ネットワークの基本設計など、様々なICT技術が様々な形で地球環境の保護に資する可能性がある。最終的にはこれらのシステムが連携して最大限の効果を発揮することが期待されており、世界的に競争して国際標準化を進めていく分野。
⑧ホームネットワーク技術分野	家電の種類ごとのネットワークに共通な基盤、家庭内の認証基盤、QoS制御、さらには外部ネットワークとの接続技術など、ホームネットワーク特有の多数の技術や製品により実現するものであり、我が国の情報家電産業の強みを生かし、国際標準化を先導していく分野。
⑨次世代映像・音響技術分野	立体映像技術や超高精細映像技術、立体音響技術は、臨場感あふれる次世代の放送サービスや映像配信サービスを実現するために不可欠な基本技術であり、完全デジタル化の後継市場として経験を生かし、国際標準化を先導していく分野。
⑩ユビキタス技術分野	様々なデバイス、ネットワーク機器等によりユビキタスネットワークが構成されることから、標準化分野が多岐にわたっているが、我が国が中心となり提唱してきた分野であり、一つのサービス市場を確立していくため、国際標準化を先導していく分野。
⑪その他の技術分野	ICT分野であって、上記①から⑩までのいずれにも該当しないが、国際標準化に重点的に取り組むべき分野。

IV. 応募方法

別添の「ICT標準開発プロジェクト 重要テーマ提出フォーマット」に、必要事項を日本語でご記入の上、提出期限（平成21年5月22日（金）17時必着）までに次のいずれかの方法により提出してください。なお、提出書類に不備がある場合は受理できませんので、ご注意ください。

（1）電子メールを利用する場合（推奨）

電子メールアドレス：standard_atmark_ml.soumu.go.jp

（スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。お手数ですが、送信の際には「@」に変更してください。）

○メールの件名は、必ず「ICT標準開発プロジェクトの応募について」としてください。

○電子メールの受取可能最大容量は、5MBとなっていますので、それを超える場合は、ファイルを分割するなどした上で提出してください。

（2）郵送の場合

〒100-8926 東京都千代田区霞が関2-1-2

総務省情報通信国際戦略局通信規格課標準推進係あて

V. 今後の予定

5月22日 重要テーマの応募締切

5月～6月 ICT分野の専門家・有識者等による平成21年度重要テーマの評価

6月～7月 平成21年度ICT標準開発プロジェクトの重要テーマに関する委託先公募（一般競争入札）
（予定）

VI. 重要テーマの評価方法

応募された重要テーマについては、ICT分野の専門家・有識者等による評価が行われます。

なお、重要テーマの決定に当たっては、主に次の視点から総合的に評価を行います。

①国際競争力を強化する上で、国際標準化を加速する必要性があるか

- ②国際標準化の実現可能性があるか
- ③標準化のための取組が具体的に提案されているか
- ④実現可能な提案内容か
- ⑤十分な体制を作ることが可能なテーマか（複数社、大学等による体制作りが可能か等）

VII. 追加資料及びヒアリング

平成 21 年度重要テーマ評価は、提出されたフォーマットに基づき行いますが、必要に応じて追加資料の提出及びヒアリングをお願いすることがあります。

VIII. 問い合わせ先

本件に関する問い合わせについては、下記までお願いします。

総務省情報通信国際戦略局通信規格課標準推進係（梶原・齊藤）

TEL：03-5253-5763 FAX：03-5253-5764

E-mail：standard_atmark_ml.soumu.go.jp

（スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。お手数ですが、送信の際には「@」に変更してください。）